# 令和6年度第二回秋田県再犯防止推進計画策定委員会 議事要旨

#### 1 開催日時

令和6年11月1日(金)15:00~17:00

### 2 開催場所

オンライン、703号室

#### 3 出席者

北島委員、鈴木委員、金山委員、栗山委員、須田委員、富樫委員、豊澤委員、藤田委員、 以上委員9名中8名出席(オンライン6名、会場2名)

### 4 事務局

秋田県健康福祉部地域 · 家庭福祉課

### 5 議事等

## (1) 第二期秋田県再犯防止推進計画 (素案) について

事務局から、第二期秋田県再犯防止推進計画(素案)について説明。

### <計画の対象者について>

# 【委員からの主な意見等】

- ○対象者は広いが、すべての県民ではない。「対象者」という項目自体の削除は計画の不備 に見えてしまうのでしないほうが良い。
- ○福祉的観点から標記を考えてはどうか。例えば「こういった支援が必要な人には」とい うような書き方ではどうか。
- ○「犯人」という文言があるが、正確には「犯人」ではない。レッテルを貼るような印象 を受けるので修正していただきたい。
- ○誤解や解釈の差が生まれないよう、それぞれの整合性がとれるように、①②・・・と条件分けして記載するのも手ではないか。

### 【事務局】

○ご意見を参考に再度検討し直して、事実と反することがなく、支援の対象者に漏れがな いように記載したい。

### <数値目標及び参考数値について>

## 【委員からの主な意見等】

- ○市町村の再犯防止推進計画について、本来であれば地域福祉支援計画に包含ではなく、 単体で策定していただきたいという気持ちもある。
- ○重層支援と再犯防止はつながるところが多く相性が良いと感じている。相乗効果は期待できるのではないか。
- ○県定着支援センターでは重層支援の会議へ出席することもあり、関わりは深い。良いと ころもあると思う。
- ○目標値に具体性と明確さは必要である。
- ○協力雇用主について、現在実際に雇用している件数は非常に寂しい数字となっているの

で、力を入れていきたい。

○「基準値」という表現が分かりにくいので改めてはどうか。

# 【事務局】

- ○ご理解いただいたということで目標は記載のとおりとしたいが、改めるべきところがないか、保護観察所等とも相談して決めたい。
- ○分かりにくい表現は改める。

#### <取組内容について>

### 【委員からの主な意見等】

## 就労・住居支援関係

- ○農林部で雇用に力を入れているとのことなので、刑務所等で行う職業訓練や説明会等に 林業関係者を誘ってみてはどうか。
- ○少年犯罪が増えて、少年たちの居場所の問題がある。たとえば県の児童自立支援施設を 退所してからの居場所等の確保についても取組に力を入れたい。
- ○居住支援法人を増やすための取組に力を入れていただきたい。そのためにも定期的な情報共有の場づくりが必要だと感じる。
- ○県営住宅への「公平な」入居機会の確保とあるが「優先的に」ということにはならない のか。
- ○公営住宅への優先入居等については検討すべき課題も多いため、関係機関が集まってニーズ調査や他県の好事例についてヒアリングをしてみる場をつくってみてはどうか。
- ○居住支援法人にしてもセーフティネット住宅にしても、ただ待っているだけでは増えない。 ・ 積極的に検討の場をつくることを計画に載せてもよいのではないか。
- ○居場所という点で、いわゆる「元気高齢者」と呼ばれる方々もおり、様々な居場所づく りに寄与している。

# 【事務局】

- ○公営住宅への優先的な入居というのは現段階では難しい。ただ、選択肢の一つとしてあることを知らない方も多いと思うので、広報活動はしていきたい。
- ○御意見を踏まえて内容を一部改めたい。

## 保健医療・福祉サービス関係

- ○保護観察対象者の就労・住居の確保は大変なので、例えば支援先や相談先を一覧表化する等の工夫があれば保護司も参考にできて良い。
- ○一つのホームページ上で、リアルタイムで支援先や相談先が分かるなどの仕組みがあれば良いのではないか。

## 民間協力者・広報啓発関係

- ○例えば「闇バイト」のように、圧倒的なCM力をもって拡散されていく情報というものがある。そういった情報発信のノウハウを様々なところから吸収して生かしていくことも必要である。
- ○大津の事件を受けて、自宅で面接をすることに不安を示す保護司も少なくない。更生保護サポートセンター以外の公的施設の利用については、市町村の更なる協力が必要であり、県としても、例えば市町村の再犯防止担当者研修等の場を通じて、公的施設の提供事例を共有していただくなど、後押ししていただくとありがたい。

## 直接支援関係

- ○再犯窓口は、検索したらヒットするような工夫が必要。テレビやラジオなどの広報活動 や、商業的広報も必要となってくるのではないか。
- ○再犯窓口には当事者よりも関係者からの連絡が多くなっている状況である。計画上も、 「周知する」「広報する」といった内容を掲載しても良いのではないかと思う。
- ○農林の雇用促進といった、秋田県らしい内容は素晴らしいと思う。そういった内容の充 実した計画であって欲しいと思う。

## 【事務局】

○いただいた意見を踏まえ、パブリックコメント前にもう一度修正のうえ、内容を確認していただく。また、協議会委員の皆さんにも計画内容を確認していただき、意見をいただいた上でパブリックコメントを実施する。

# 6 閉会

以上